

(仮称) えんがる町民センター建設検討協議会施設見学の総評

今回の施設見学では、建設年度や目的、立地条件等が異なる3施設について、委員自ら、積極的に見聞し、遠軽町に建設するセンターのイメージをつかんできたと考えてところです。

特に、大ホールに関しては、大きさや客席数、ステージの広さのほか、舞台装置などの細部にわたり、各々による分析がなされました。

各委員が3施設の設備等を評価した結果から、理想とするセンターのイメージを次のとおりまとめました。

1 施設外観・内装デザイン

- ・ 施設の外観はシンプルなものとし、長期的な維持管理や冬期間の対策を十分に考慮する。
- ・ 内装は、木材を取り入れ温かみのある雰囲気がいよい。

2 駐車場・台数

- ・ 適切な台数を確保するとともに、建物に隣接し、わかりやすい位置に駐車場を整備する。

3 主玄関・ホワイエ

- ・ ミニコンサートなどのイベントも開催できる広さの中に、ゆったりとくつろげるスペースを確保する。

4 大ホール

- ・ 座席の幅を広めにし、前後左右の間隔に十分なゆとりを持たせるとともに、視認性を考慮する。
- ・ ステージの高さ、間口、奥行は名寄と同程度とするが、舞台袖に十分な広さを確保する。
- ・ 舞台設備については、音響反射板の設置方法を検討するとともに、緞帳は設置しない。
- ・ 十分な楽屋の数確保するとともに、間仕切りなどで他にも利用可能な部屋も確保する。
- ・ 廊下は、大人2人がすれ違うことができる幅を確保する。
- ・ 親子室を設け、利用者に配慮した設備とする。
- ・ 機材搬入口は、大きめの構造とし、冬期間の対策を講じる。

5 小ホール・多目的ホール

- ・ 小ホールは可動席とし、ステージを設ける。

6 事務室

- ・ 大ホールと主玄関の配置を考慮した位置に事務室を設ける。

7 会議室・実習室・和室

- ・ 一部の会議室には、座り心地の良い椅子を配備するとともに、周囲の防音に配慮した会議室とする。
- ・ 調理実習室は、親子での利用に配慮する。
- ・ 広めの和室に、間仕切りを設けるとともに、茶室を設ける。

8 トイレ

- ・ トイレはバリアフリーで清潔感のある空間とし、出演者、来場者に配慮した位置に設置する。

9 展示・売店

- ・ ホワイエに隣接した位置に展示スペースを設けるとともに、飲食可能なスペースについても考慮する。

10 管理運営

- ・ 1時間単位での利用を可能とし、効果的で効率的な管理方法を検討する。

11 その他

- ・ 各室の防音に配慮し、吹奏楽のほか、ロックや太鼓といった様々なジャンルの練習に配慮する。
- ・ ピアノ保管庫やチューニング室についても考慮する。
- ・ イベント開催のための助成制度の活用を図る。